

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 31 日
研究・研修課題名	細胞治療認定管理師資格更新および単位取得のための学会参加
研究・研修組織名 (所属)	輸血部
研究・研修責任者名 (所属)	兒玉 るみ (輸血部)
研究・研修実施者名 (所属)	兒玉 るみ、石原 智子 (輸血部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input checked="" type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ()
該当者名(所属)	兒玉 るみ、石原 智子 (輸血部)
学会名(会期・場所)、認定名等	第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 (Web 開催) 細胞治療認定管理師
演題名・認証交付元等	(一社) 日本輸血・細胞治療学会・(一社) 日本造血細胞移植学会
取得日・認定期間等	認定期間 2022. 4. 1～2027. 3. 31
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 () <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

近年、細胞や組織を採取し未調製または調製後にそれらを必要としている患者に輸注する細胞治療が盛んに行われている。細胞治療を行うに当たり、細胞の調製過程および最終産物の品質を評価することは非常に重要である。細胞調整に精通し、安全で品質管理された細胞治療が行える細胞治療認定管理師の資格更新と細胞の調製過程および最終産物の品質評価の精度向上を目的とする。

② 方法

- 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会 (Web 開催) に参加して最新の知見を得るとともに細胞治療認定管理師認定更新のための単位を取得する。
- 日本輸血・細胞治療学会に認定更新申請書類を提出し、審査の結果必要な条件が満たされていれば細胞治療認定管理師の更新が認定される。更新条件としては、5 年間継続して日本輸血・細胞治療学会もしくは造血細胞移植学会の会員であること、5 年間で更新申請資格審査基準単位 50 単位以上を取得することが必要である。

③ 成果

- 第 69 回日本輸血・細胞治療学会学術総会に参加し、最新の知見を得るとともに認定更新申請に必要な単位を取得した。日本輸血・細胞治療学会は輸血医学・細胞治療学の進歩及び安全で適切な輸血医療・細胞治療を推進すると共に国民の保健衛生の向上に貢献することを目的とした学会で、今回参加した第 69 回日本輸血・細胞治療学会総会は、「輸血医療の真価を問う～持続可能な輸血・細胞治療をめざして～」をテーマに掲げ、輸血や細胞治療・再生治療に関する様々な講演やセミナー、発表など多彩なプログラムが準備されていた。今回、オンラインでの開催だったため、さまざまプログラムを視聴できたことは大きなメリットだと感じた。細胞治療の分野において、参考になった講演や演題としては、コロナ禍における輸血・細胞治療や、CAR-T 細胞療法における原材料の品質担保の重要性および実際の運用、CAR-T 細胞療法のための細胞調製施設の整備と運営の実践、細胞治療における輸血・細胞治療部門の役割、輸血管理システムによる細胞製剤管理などであった。ま

(様式1)

た、細胞治療認定管理師に向けた指定教育セミナーとして、細胞治療に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会「安全に確実に幹細胞採取をするために」が開催され、とても興味深い内容であった。多くの情報や最先端の動向を知るとても良い機会となった。

2. 日本輸血・細胞治療学会に、細胞治療認定管理師制度登録更新に必要な書類を提出し申請手続きを行った。審議会と協議会での審議を経て、細胞治療認定管理師制度協議会から資格更新が認定された。

今回、造血幹細胞移植、再生医療や免疫細胞治療等において、新たな知識を得ることによって、細胞治療認定管理師のスキルアップにつながったと考えられる。これからも造血幹細胞移植や再生医療、免疫細胞治療等において、細胞・組織を用いた医療に必要な細胞調製ならびに検査を正確に実施し、安全で品質管理された細胞治療を行うための推進役として活躍できるよう努めていきたい。